

# 磐城時報

日刊  
編輯兼發行所 田中 誠  
印刷所 磐城時報社  
發行所 磐城時報社  
一部金五銭 一月金五十銭  
廣告料 一行十銭 五行五十銭  
△日刊 (日曜、祭日) 休刊

## 紛乱の赤井村長は

### 政友田久氏に決定か

#### 助役をならんとして村長まで のしを付けて進上の草野派

(履報) 助役問題に發端未會有のは確定した感あり、助役までも紛亂に陥つた赤井村は依然然山自派に獲得せんとして此の紛亂縣属の職務管掌續いて居るが、を招來した草野派は反つて村長草野三郎氏に反感を有する故若までものしを付けて進上する様松美三氏系の村議は政友系議員の結果となつた。

## 櫻村氏出發

### 青沼町長以下 見送人百餘名

草野派は此れに對し現有勢力で田島町長に就任した元平警察署は七對五で全く勝算ないところ長櫻村氏は今二十五日午前十時から政民聯合軍の切崩し全力を時十八分平野發列車で家族同伴注ぎあはよくば形勢の逆轉後に赴任の途に就いた。驛頭には青於いて村長選舉を行はんと必死 沼平町長、横山平署長、井上縣の策動を續けてゐるが、大勢既議、關内、佐々木、多田井町議に決した形で田久氏の村長就任等百餘名の見送人があつた。

## 悪疫猖獗に刺戟され

### 植田上水道實現か

#### 總工費六万圓程度で充分 愈々實現へ乗出す

植田町江畑地内の腸チフス猖獗の準備に着手したが、鮫川江筋原因は調査の結果大體井水からが豫定の改修を見れば鮫川からの傳染と概られてゐるが、此れ引水出来る爲め總工費は僅に五に由り同町多年の懸案たる上水六萬圓程度で簡易水道が敷設出道敷實現問題が急進に進展し來る等で案外急進に進展するも懸らし關係地元民に見える筈で植田町當局では既に具體的設計の豫想される。此れに就いてゐる。

## 古川町長は

井水に頼り過ぎた結果今回の様な悪疫傳染を來たしたので是非上水道を實現したい。勿論最初は五六萬圓程度の簡易水道だが鮫川から引水出来るから簡易水道でも充分に需要を充たすことは出来ると思ふ、町民多年の要望だけに舉町一致すれば大いに至難の事ではないと語り直ちに町會を召集決議を求めた上實現へ向つて第一歩を踏み出す事になつた。

## 小川井第二期工事

### 總豫算二十餘萬圓 今期縣會に提案通過の見込充分

(昨報) 二十四日盛大な起工式を舉行した小川江筋改修工事は第一期十萬二千七百五十圓今明二ケ年の繼續事業で工事は全部組合請負となつた結果工事仕立人選定の爲め同組合では今二十五日町團體事務所にて總會を開き長瀬管理者以下出席協議を進めた尚第二期工事は總工費二十萬二千七百五十圓で九年以後五ケ年繼續事業として既に今縣會に提案されて居り政、民一致で該案の通過する事は殆んど確定的と見られて居り二百餘年の歴史を誇る小川江も此の第一、第二期工事によつて全く近代裝を呈する事になり、關係地元民に見える筈で午前十時中島裁判長係、三堀検事は村も本人も當然責を負ふべし遂に呪ひの放火を企てたが家人が物音で出火を知り目的を達しなかつたものである。

## 四倉陪審員

### 於ける陪審員資格者數は九十名 にして陪審員候補者の抽籤を本 日午前十時より同町役場に於て 行つた結果候補者に當選したる 者左の如し。

大和田政重(仲町)古市松之助(仲町)船生操(新町)

## 駒木根玉川村長

### 懲役一年半求刑さる 次回公判は十二月九日

玉川村長駒木根忠三(五)氏に實審理の結果駒木根氏は終始豫係る公私文書偽造行使詐欺事件審の陳述を翻して犯罪事實を否認の公判は既報の通り二十四日認められた。此れに對し三堀検事は村も本人も當然責を負ふべし遂に呪ひの放火を企てたが家人が物音で出火を知り目的を達しなかつたものである。

## 傳染病豫防委員會

平町傳染病豫防委員會は二十五日午前九時から役場會議室で開催來年度豫算に就いて協議後隔離病舎を視察した。

## 關内會長歸平

警中會總會に出席した同窓會長關内正一氏は二十四日午後十一時歸平したが、警中會館設置問題は資金五萬圓を手分けして募集する事になりそれまでは現在小石川の造士會を修復使用する事に決定した。

## 事故防止注意

四倉警察署では昨二十四日管内の自動車運轉手を會議室に召集し自動車事故防止の注意をなした。

## 馘首された老職人 主家に呪ひの放火

### 平素から酒癖の悪るい男 一町目怪火事件後報

(既報) 二十二日午後十一時頃平六ヶ月を求刑午後閉廷したが次町一町目丸屋足袋店事務齋藤喜興回は十二月九日。志方裏手物置から放火大事に至らなかつた小火事件は放火原因に不審の点があつた等から鮫川に積まれてあつた等の点から放火と睨らみ關係者を召致取調の結果昨二十四日早朝元同家の職人である仲町四品寺前に居住してゐる裁縫職耶摩那猪苗代町生れ桑原寅吉(二)を有力な被疑者として検査川島司法主任係りで取調た結果遂に包み切れず同日午後七時に至り放火の犯人を自白するに至つた。放火の原因は寅吉は十八年前から同家の職人に雇はれてゐたが平素から酒好きで家族の者にも嫌はれてゐた結果不景氣を理由として去る六月中旬借金八十圓を棒引にした上二十圓の解雇手當で馘首された事をうらみ折を覗つてゐたもので同夜風の烈しいのを幸ひ露前某飯食店で酒を呑みながら時間が消し遂に呪ひの放火を企てたが家人が物音で出火を知り目的を達しなかつたものである。

## 構造社展特選の鳥越君

### 歸郷して自宅製作

今秋の構造社展に初出品の木彫「踊」が特選の榮を得た平町出身の天才彫刻家鳥越仁君(二)は其の後恩師齋藤素巖氏の下に於つて精勵してゐたが實母の病患重く此の程歸郷目下仲町町の自宅にあつて看護の傍ら各方面から依頼による木彫の製作中で目下浮上つたもの……

## 名湯「寅之湯」

四倉町新町戸田昇氏は同町字戸の口に鑛泉旅館「寅の湯」を經營してゐるが、同所は日本新百景の一新舞子を一時に見下ろせる絶好の場所である。尚該鑛泉は自動車の便がある。尚該鑛泉は外傷性諸病疾患、婦人病其の他の特効あり各方面からの湯治客で賑はつてゐる。

## 在郷軍人幹部會

石城郡在郷軍人幹部會は二十五日午後一時から平町マルトモホールに開き神谷村地内に新設した實彈射撃場完成に關し射撃會開催の件を協議した。

## 商業生實習

平商業學校五年生は二十五日平町二丁目商業實習として白菜の賣出しを行つたが好成績であつた。

## 秀才の死體

今朝 四倉 海岸に打揚

釣漁の好期に入り一ヶ月程前から大浦村仁井田浦、夏井川口、鮫川、滑津川等何れもボラ、マルタ等一人で一貫匁乃至三貫匁程度の釣獲があり釣天狗の人々をして喜ばしてゐたが、廿三日三井文吉氏が仁井田浦でボラの大漁を見た

り二十三日午前九時から城山弓道場で開催したが参加者五十余名で近來の盛會だつた。競射の結果入賞者は、一等木戸村松本正、二等平町松崎吉顯、三等平町小野菊彌、四等鎌田鈴木勝明、五等小川郷竹山松三郎、六等夏井村青木清太郎、七等鎌田平野井留藏、八等四倉町四家折兵衛、九等内郷村仙北繁太郎、十等平町伊藤傳吉、▲金の湯本町赤塚勇▲揚的平窪相田銀彌。以上

### 土地賣却廣告

- 一、平町字大町十番地 宅地五百六十四坪 (分譲致します)
  - 一、同 五番地 宅地三百七十三坪四合 (同上)
  - 一、同 五番地ノ二 宅地百五十四坪 (同上)
  - 一、同字新川町三十三番地 宅地百九十三坪三合 (同上)
  - 一、同 十七番地 二百九十一坪 (同上)
- 右至急賣却致します  
御希望の方は左に御相談下さい  
平町字大町四番地

中野勇吉 電話一三三番

### 松島名産

美味と滋養で名高い 一の井の

## カキ貝

御料理

獨カキフライ.....廿五錢  
特カキナベ.....四十錢  
スカキ.....廿五錢  
一の井 電一六七番

耳鼻咽喉科専門

## 鈴木醫院

醫學士 鈴木正男  
平町田町(電話五八番)  
藤田女學校前  
(入院のお需めに應ず)  
(自炊の便あり)

## 平看護婦會

會長 清野キヨ  
平町字南町(電話三〇七番)  
看護婦派出の需めに應じます

### 専門内科一般

〔内科ハ何デモ診療致マヌ  
呼吸器病バカリデハアリマセン〕  
平町南町六五改(電話一八一番)

## 川井内科診療所

醫學士 川井重子  
女醫 川井安子

産婦人科 院長 木村寅次郎  
醫學博士 内木宗八

外科 藥劑師 立番彌一  
平町新川町十九

## 木村病院

電話一六四番

### 産婦人科

午前宅診 午後往診

## 井坂醫院

電話五五九番

## 高久病院

醫學士 高久忠  
新潟醫學士 赤羽清雄  
藥劑士 佐竹菊雄  
内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科

### 牛豚肉

平町田町  
三三三三屋  
電話三三三番



製造—袋—賣販  
袋種各一・糖砂一・子菓

本店商金大目一町平  
所袋製木鈴  
本店濯洗洋西澤永岸川

### 化粧品、理髮器具一式

安全剃刀 (付磁皮研磨自)  
鏡衣白 (種各小大)



芳香園理髮器具店  
平驛前(電話六八〇番)

防虫加工純毛メリヤス

ナフタリ、樟腦ノイラヌ 上下各三圓  
絶対出ノ喰ハヌ毛シヤツ 上下各二圓八十錢  
絶対洗濯、其他ニ 上下各二圓八十錢

### 冬の御用意

シヤツ、子供服  
シヨール、各種  
別誂コート 豊富

## 三井呉服店

滋養、強壯劑として愈々好評  
偉大なる藥酒「栗守酒」  
朝の一盃は精力の源泉、晩の一盃は休眠の助力

栗守酒特約店 大平屋藥店  
代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目(電話六二)